

令和 5年 4月 1日

令和 4年度 特別の教育課程の実施状況等について

三重県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
松阪市立飯南中学校（外 校）	松阪市教育委員会	公

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
松阪市立飯南中学校	https://www.iinan-matsusaka.com/iinan/category/special/

※必要に応じて行を追加すること。

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
松阪市 立飯南 中学校	https://www.iinan-matsusaka.com/iinan/category/special/	https://www.iinan-matsusaka.com/iinan/category/special/

※必要に応じて行を追加すること。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

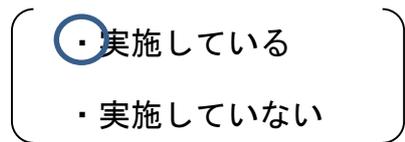
(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- 一部、計画通り実施できていない
- ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況



<特記事項>

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

『ふるさとを誇らしく語り、受け継ぎ、未来を担う志と力を持った生徒の育成』を教育目標とし、「確かな学力の育成」、「地域学習の充実」、「豊かな心と健やかな体の育成」を教育重点目標として取り組んでいる。特別な教育課程「人間と社会」では、地域の人材を活用し、主体的に学ぶ力、多様な人々と協働する力、自分について考える力を身につけることができる学習であり、本校の教育目標につながっている。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

特別の教育課程では「人間と社会」の授業や活動の中で、地域の人たちから話を聞いたり、見学・体験といった学習や発表したりする活動を多く取り入れ、「身につけさせたい資質・能力の育成」と「コミュニティ能力の向上」を目標にした授業づくりを目指してきた。また、小中高の12年間における教育の連携・コミュニケーション力を培う教育の連携をめざしている。

4. 課題の改善のための取組の方向性

3年生では、生徒の関心や意欲が高く、自分たちにとって、将来の目的意識や職業観、勤労観を育成できる貴重な機会であった「わくわくワーク」に代わり、どのような形で子どもたちのキャリア観を育てていくかが今後の課題である。「人間と社会」はキャリア教育の中心になる学習である。様々な分野で活躍する講師を招いたり、体験学習を取り入れたりして、今後も自己理解、将来への明確な職業観・勤労観を養うための学習として、さらに充実した取組を進めていく。